

ケアする仕事の未来



人がよりやさしくなる
職場や地域のつくり方

2025年3月9日(日) 13:00-17:15 (開場12:30)

会場：京都市勧業館みやこめっせ・特別展示場

主催：ACT-K 共催：たかぎクリニック、ねこのて訪問看護ステーション 企画運営：ぼくみん

参加
無料

人がやさしくなる職場や地域のつくり方

アクトケー

私たちACT-Kは、重度の精神障害をお持ちの方にも、精神病棟に閉ざされるのではなく、地域コミュニティで混じり合って生活する環境をつくろうと活動するチームです。2004年に京都で設立し、今年でまる20年が経ちました。今回のフォーラムでは、私たちの社会のやさしさを守っていくためにも、誰かをケアしている対人支援職に焦点をあて、どうやったら人がやさしくなる職場や地域をつくれるのか、ケアする仕事の未来はどのようなのかなど、私たちのこれからについて語り合えたらと企画いたしました。ゲストとして、行きすぎた能力主義をほぐし、数々の著作が注目を集める勅使川原真衣さんにお越しいただきます。また、医療や福祉のそもそものあり方に立ち返りながら、手間ひまかける対人支援職としての新たな専門知の必要性を問ひかける近田真美子さんをはじめ、新進気鋭のACT-K非常勤理事の皆さんにもご登壇いただきます。浅春の3月、どうぞこぞってお越しください。

登壇者プロフィール



勅使川原 真衣 てしがわら まい
組織開発コンサルタント
キーノートスピーチ クロストーク

1982年横浜生まれ。チームづくり・組織づくりの専門家。東京大学大学院にて教育社会学を学ぶ。外資コンサルティングファーム等を経て独立し、企業、病院、学校、家族などのチームに寄り添い、人と人との関係をよりよくする組織開発に取り組み。初の著書『「能力」の生きづらさをほぐす』（どく社）が反響を呼び、『働くということ』（集英社新書）、『職場で傷つく』（大和書房）などの著作や講演を通じて、人を「選り」「選ばれる」能力主義にとらわれない新たな組織論を提唱。2児の母。2020年より乳がん闘病中。



近田 真美子 こんだ まみこ
福井医療大学保健医療学部 教授
キーノートスピーチ クロストーク

1975年北海道浦河町生まれ。浦河赤十字病院の精神科病棟をはじめ外科病棟で働く。北海道医療大学看護福祉学研究科で看護学修士、大阪大学大学院人間科学研究科で博士（人間科学）。東北福祉大学で教えていた時、東日本大震災に遭遇。こころのケアチームの一員として、石巻や仙台の避難所支援に従事。そのかわり、仲間とともに震災を避行的に問ひ直す哲学対話実践の場を設け、ファシリテーション・グラフィックを担当。専門は精神看護学。『精神医療の専門性 「治す」とは異なるいくつかの試み』（医学書院）は、ACT-Kの実践を現象学で紐解いた良書。



竹端 寛 たけはた ひろし
兵庫県立大学環境人間学部 教授
クロストーク ダイアログ

1975年京都生まれ。大阪大学人間科学部、同大学院博士課程修了。博士（人間科学）。山梨学院大学教授などを経て、2024年から現職。西宮市地域福祉計画策定委員会・委員長、芦屋市権利擁護支援システム推進委員会・委員長などを務める。オープンダイアログの学びを深めながら、授業や研修を対話的に変えていくことを試行錯誤。著書として『ケアシケアされ、生きていく』（ちくまプリマー新書）、『「当たり前」をひっくり返す パザーリア・ニリエ・フレイレが奏でた「革命」』（現代書館）ほか多数。専門は福祉社会学、社会福祉学。姫路市在住。新著に『能力主義をケアでほぐす』（晶文社：2月24日発行予定）。



梁田 英麿 やな た ひで まろ
東北福祉大学せんだんホスピタル
包括型地域生活支援室（S-ACT）室長
クロストーク

1970年秋田生まれ。東京国際大学大学院国際関係学研究科修了。東南アジアの山岳民族のフィールドワークなどを行う。大学で教鞭をとりながら研究活動を続けるなかで、29歳のときに偶然にも精神障害の世界と出会い、ど素人のまま社会福祉法人に飛びこむ。包括的で積極的な訪問型生活支援の必要性を感じ、国立精神・神経センター ACT-Jプロジェクトを経て現職。2020年より一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会の代表理事も務める。公認心理師。精神保健福祉士。周囲から「活字中毒」と呼ばれるほど本が好き。



高木 俊介 たかぎ しゅんすけ
精神科医 / ACT-K 代表
クロストーク

1957年広島生まれ。京都大学医学部卒。大阪府内の私立精神病院と京都大学医学部附属病院精神科にそれぞれ10年勤務。日本精神神経学会で、精神分裂病の病名変更に関わり「統合失調症」の名称を発案（2002年に正式決定）。2004年、京都市中京区で「たかぎクリニック」を開設。「ねこて訪問看護ステーション」と協働し、精神障害者の在宅ケアを行う日本初の民間版ACT（包括型地域生活支援プログラム）を立ち上げる。著書に『対人支援のダイアログ』（金剛出版）、『危機の時代の精神医療変革の思想と実践』（日本評論社）など。京都・一乗寺ブリュワリーの共同代表として地ビールの醸造販売も行う。

開催日時

2025年3月9日（日）
13:00 - 17:15（開場12:30）

タイムスケジュール

- 12:30 ● 開場
- 13:00 ● 開会
- 13:15 ● 第1部：キーノートスピーチ
- 14:50 ● 第2部：クロストーク
- 16:15 ● 第3部：会場全体でのダイアログ
- 17:00 ● おわりに
- 17:15 ● 閉会

※19:00まで会場で交流会

会場アクセス

京都市勧業館みやこめっせ・特別展示場
〒606-8343 京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1
最寄り駅：京都市営地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分

お問い合わせ

actk20th@gmail.com（担当：佐藤）

お申し込み方法



フォーラムの参加にはお申し込みが必要です。
こちらの二次元コードから登録をお願いします。
<https://actk-20thforum.peatix.com/>

参加
無料



ACT-K 設立20周年フォーラム

仕ケアする 仕事の未来